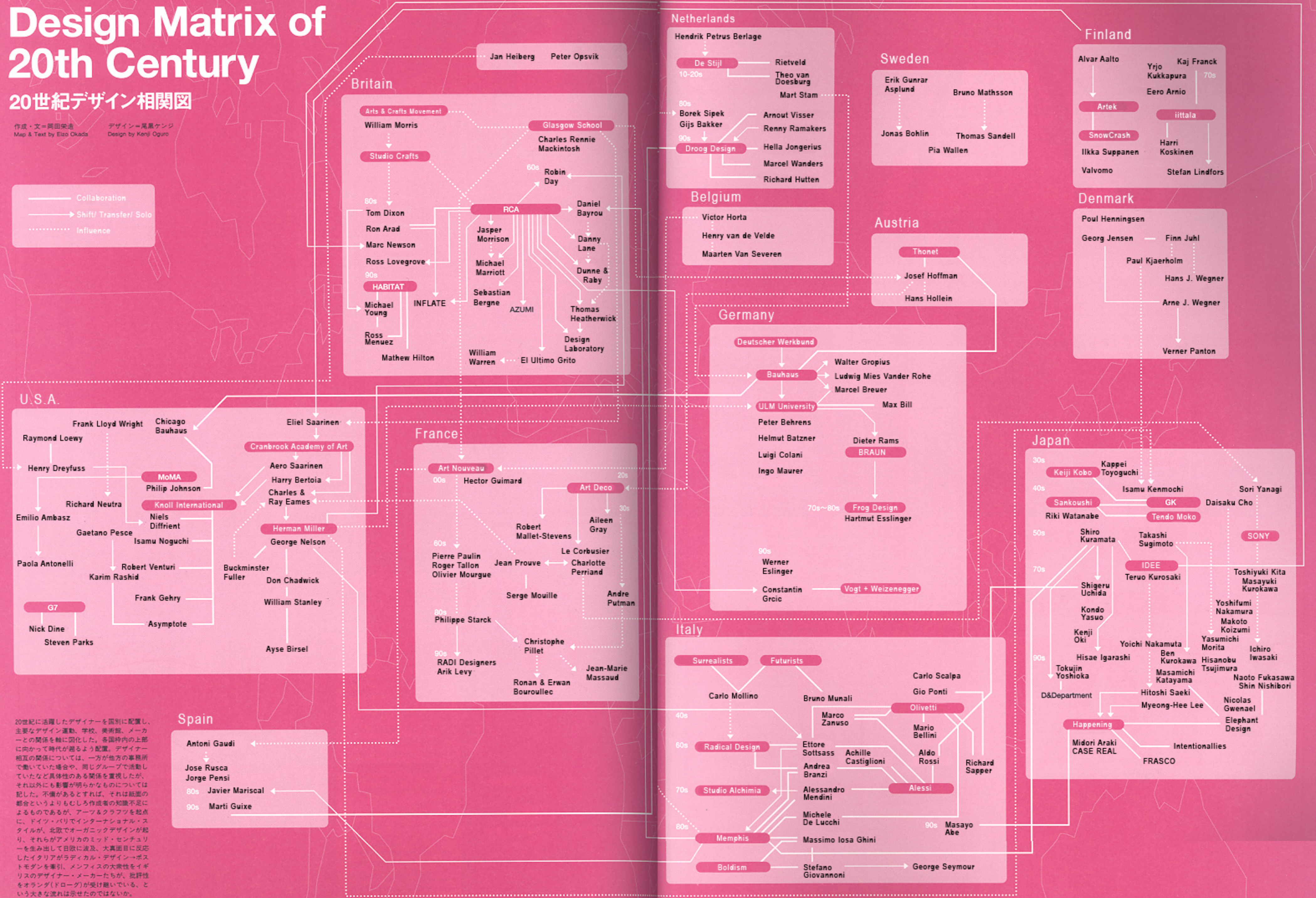
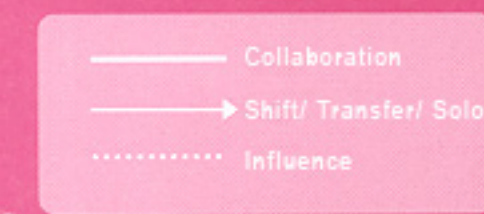


Design Matrix of 20th Century

20世紀デザイン相関図

作成・文＝岡田保通
Map & Text by Eizo Okada

デザイン＝尾崎ケンジ
Design by Kenji Oguro



20世紀に活躍したデザイナーを国別に配置し、主要なデザイン運動、学校、美術館、メーカーとの関係を軸に図化した。各国特内の上部に向かって時代が流れるよう配置。デザイナー相互の関係については、一方が他方の事務所や、同じグループで活動していた場合や、同じグループで活動していたなど具体的な関係を重視したが、それ以外にも影響が明らかなものについては記した。不備があるとするならば、それは紙面の都合というよりもむしろ作成者の知識不足によるものであるが、アーツ&クラフツを起点に、ドイツ・パリでインターナショナル・スタイルが、北欧でオーガニックデザインが起り、それらがアメリカのミッド・センチュリーを生み出して日欧に波及、大真面目に反応したイタリアがラディカル・デザイン・ポストモダンを牽引、メンフィスの大衆性をイギリスのデザイナー・メーカーたちが、批評性をオランダ(ドロエグ)が受け継いでいる、という大きな流れは示せたのではないかと。